

Beyond Angiography Japan XXXI

会期 2027年**3**月**25**日(木)

会場 日石横浜ホール

大会長 園田 信成 唐津赤十字病院

副会長 尾田 済太郎 熊本大学病院

**演題
募集**

募集期間 2026年
10月1日(木)
↓
12月28日(月)

境界を越える

—侵襲・非侵襲の融合で拓く循環器診療の次世代戦略



境界を越える—侵襲・非侵襲の融合で拓く循環器診療の次世代戦略

この度、伝統ある「Beyond Angiography Japan (BAJ)」第31回大会の世話人を拝命いたしました。Beyond Angiographyは、米国にてNissen教授 (Cleveland Clinic) やYock教授 (Stanford University) らを中心に発足した会を淵源としています。日本では1996年、山口徹先生、鈴木孝彦先生らを中心に産声を上げ、四半世紀を超える歩みを経て、今回で第31回という節目を迎えることとなりました。

これまでの歩みと病態理解の深化

本会はその名の通り、血管造影法 (Angiography) の限界を補完する多種多様なモダリティに光を当ててきました。

非侵襲的診断技術: Coronary CT, Cardiac MR, PET, SPECT

血管内イメージング: IVUS, OCT/OFDI, NIRS-IVUS, 血管内視鏡

生理学的指標: CFR, FFR, NHPR, FFR-CT, IMR

画像解析技術: Angio-based FFR

これらの科学的根拠を詳細に検討することで、私たちは循環器疾患の病態生理をより深く、精緻に理解し、治療を飛躍的に発展させてきました。

第31回の狙い: “実装の時代” への挑戦

記念すべき第30回では「温故知新」をテーマに、歴史を紐解きながら病態生理の未解決領域を掘り下げました。今回の第31回で

は、その議論をさらに一歩進め、「いかにしてこれらの情報を統合し、臨床現場で患者さんに還元するか」という“実装”に焦点を当てます。現在、私たちの手元には膨大な選択肢があります。しかし、技術が増えたからこそ、「どの場面でどの指標を使い分けるか」「いかに合理的に統合するか」という判断が、かつてないほど重要になっています。これからの循環器診療には、新技術の導入のみならず、費用対効果を見据えた合理的な選択や、侵襲・非侵襲を架橋するハイブリッドな発想が不可欠です。

多職種の連携で拓く未来

本会は、放射線科医と循環器内科医が手を取り合って企画・運営を担うユニークな場です。医師、コメディカル、そして開発企業の皆様が一堂に会し、以下の視点から議論を深めたいと考えています。

精密な診断の追求

患者中心の有機的な診療運用

近未来の循環器診療のあるべき姿

本会が、新たな知見と強固な連携を生み出し、循環器診療の次なるステージを切り拓く場となることを心より期待しております。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げております。

Beyond Angiography Japan XXXI

大会長 園田 信成 (唐津赤十字病院)

副会長 尾田 清太郎 (熊本大学病院)

Beyond Angiography Japan

代表世話人 鈴木 孝彦 (豊橋ハートセンター)

Beyond Symposium テーマ

シンポジウム 1 Beyond Angiography の実践— 侵襲・非侵襲的画像の“統合戦略”

シンポジウム 2 Fusion PCI: Imaging と Physiology を統合する次世代 PCI 戦略

シンポジウム 3 循環器画像診断における最新技術の臨床実装最前線

Program at a glance

	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
第1会場	Opening Remark	シンポジウム1	ランチョンセミナー1	シンポジウム2	スポンサーセミナー1	スポンサーセミナー2	イブニングセミナー1	シンポジウム3
第2会場		一般演題1	ランチョンセミナー2	YIA	メディカルスタッフプログラム		イブニングセミナー2	一般演題2
								表彰式 & Closing Remark

一般演題募集

募集内容: FFR/CFR/IMR、OCT/OFDI、IVUS/NIRS-IVUS、血管内視鏡、CT、MRI、核医学などを用いた、心血管疾患の診断・治療に関する研究および症例報告を幅広く募集します。

募集種類: ①学生・研修医 ②一般: メディカル、メディカルスタッフ ③U40 ※U40は40歳未満の方に限ります。

応募方法: ホームページの演題募集ページから抄録(演題名・演者・共同演者・所属・本文(400~800字以内))を事務局までお送りください。後日、選考にあたり画像データの提出をお願いする場合があります。演題のご応募はホームページからご応募ください。

募集期間: 2026年10月1日(木)~12月28日(月)

発表方法: 採択された演題は口述またはポスター発表して頂きます。

特典: 優秀演題は表彰いたします。

表彰: 最優秀賞(口述発表) 優秀賞(口述発表) 優秀ポスター賞

症例申込先e-mail: beyond@visitech.co.jp



<http://www.visitech.co.jp/baj/31>